

造血器腫瘍による中枢神経病変又はその予防
 髄注化学療法(メトレキセート+キロサイド+プレドニゾン又はデカドロン併用療法)
 患者プロトコール

投与プロトコール 1コース 1日間 規定なし※ 《開始時基準 PS:、年齢:制限なし》	投与量	投与日	投与時間	備考
①	メトレキセート: 15mg/body	mg	Day1	左記3剤を混合し、同時に髄注する。
	キロサイド: 40mg/body	mg		
	<input type="checkbox"/> プレドニゾン: 10~20mg/body	mg		
	または <input type="checkbox"/> デカドロン: 3.3mg/body			
注射用水 3~5mL			5分 (髄注)	
※休薬期間は特に設けず、病変があれば頻回の施行も可能とする。 ◆対象疾患は特に限らず、白血病・悪性リンパ腫・骨髄腫、いずれも中枢神経病変を有する、もしくは予防が望ましい場合に投与する。 ◆ステロイドの投与は主に髄膜刺激症状緩和のためで、プレドニゾン、デカドロンのいずれを用いても構わないが、デカドロン3.3mgはプレドニゾン20mg相当と考え、プレドニゾンの投与は20mg/bodyも可とする。				

佐賀大学医学部附属病院